

郡山支部活動報告

[平成 23 年 6 月 25 日発信：井上]

- 城下町大和郡山の建物探訪（活動予定は毎月第 1 土、第 3 日曜日）

郡山支部では、文化庁の「地域伝統文化総合活性化事業」と並行して郡山市街地の文化的な価値ある建築物を掘り起こし、その建物の活用策、地域の伝統文化を活かしたまちづくりの一助になることを願って、まずは一歩からと、行動を起こしています。

近鉄と J R に挟まれた駅近の街、一大商業地であったこの街に人が集まる街、賑わいのある街、商人の町、職住近接の町への方策を、地域の皆さんと共に考えようと進めています。

既に、街の中の、お医者さん、意のある学生、地域ボランティアグループ、市役所の職員等が行動を起こしています。私達建築士は、自らの職能を通じてこの活動に参加しようとしています。

- 6 月 1 9 日（日）

- ・ 9 時に三の丸会館に集合、3 グループ分けて、下記 3 町を調査した。

調査場所：奈良町、雑穀町、茶町

自治会構成数（約）：奈良町 4 2 軒

雑穀町 2 8 軒

茶 町 1 7 軒

- ・ 昼食後、パソコン入力のお渡しを、一色氏から受けてデータ入力を行う。

※ 調査中、お家の方が出てこられ、この家は築 3 0 0 年経っているのですねと、説明を受ける。後日見せていただきたいとお願いをして調査をすすめる。

※ 茶町では、古民家を改造した、理容室がとてもいい感じである。

※ 後日であるが（6 月 2 4 日）[料理旅館 尾川] では、茅の輪が店頭に設えており、茅の輪の由来の小紙を配布しておられた。

夏越なごしの祓ほらいいは、陰暦六月晦日に行う祓の称。陽暦となつてからは六月三十日、七月三十一日と各地の神社で執行されるが、前後 1 週間ほど飾られている。名越神事は形代を川に流したり、茅の輪をくぐるのが一般的である。

茅の輪は、「水無月の夏越の祓する人は、ちとせの命のぶというなり」の古歌を唱えつつ、左廻り、右廻り、左廻りと八の字書くように三度くぐり抜け、心身共に清らかになって、あとの半年間を新たな気持ちでむかえるのです。

県内では、6 月 30 日に 春日大社：1 5 時～ 大和神社：1 7 時～

大神神社：1 5 時～（大神神社は三つの輪が設けられる）

7 月 31 日は、吉野神宮：1 6 時～ 往馬神社：1 5 時～

等々、県内多くの神社で行なわれます。一度参加してみてください。

7 月の調査地は、豆腐町、材木町、新紺屋町、車町等

- 次回は 7 月 2 日（第 1 土）9：00～16：00

集合場所 三の丸会館 視聴覚室

- 次々会 7 月 1 7 日（第 3 日）9：00～16：00

集合場所 三の丸会館 工作室

<p>パソコン入力学習</p>	<p>パソコン入力中</p>
<p>7 / 19 三の丸会館 工作室</p>	<p>同左</p>
	
<p>茶町調査風景</p>	<p>茶町長屋の下屋根にのる鐘馗様</p>
<p>7 / 19</p>	<p>7 / 19</p>
	
<p>茶町の民家を改造した理容室</p>	<p>料理旅館 尾川</p>
<p>7 / 19</p>	<p>7 / 24 玄関に設えられた茅の輪</p>
	